

第 41 期決算公告

令和元年 12 月 5 日

福岡県福岡市博多区上呉服町 12-33
株式会社リサーチアンドソリューション
代表取締役社長 美濃部 直樹

貸借対照表

(令和元年 9 月 30 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
流 動 資 産	701,310	流 動 負 債	434,893
現金及び預金	81,473	業務未払金	66,058
完成業務未収入金	518,299	未払金	33,911
未成業務支出金	28,392	未払費用	40,072
商品	473	未払消費税等	10,836
前払費用	22,480	預り金	41,366
未収入金	15,312	未成業務受入金	179,758
未収法人税等	1,178	賞与引当金	62,888
立替金	6,059		
短期貸付金	30,000		
その他	78		
貸倒引当金	△2,438		
固 定 資 産	336,570	固 定 負 債	125,231
有 形 固 定 資 産	251,000	退職給付引当金	111,878
建物	116,325	役員退職慰労引当金	7,915
器具備品	13,515	リース債務	5,436
土地	116,208		
リース資産	4,950		
		負 債 合 計	560,124
		純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	4,595	株 主 資 本	477,892
ソフトウェア	3,443	資本金	10,000
電話加入権	1,152	資本準備金	10,000
		利益剰余金	457,892
		利益準備金	1,147
投資その他の資産	80,974	その他利益剰余金	456,745
投資有価証券	1,145	繰越利益剰余金	456,745
長期前払費用	2,346		
差入保証金	3,346		
繰延税金資産	74,136		
その他	0	評価・換算差額等	△136
		その他有価証券評価差額金	△136
		純 資 産 合 計	477,756
資 産 合 計	1,037,881	負債純資産 合計	1,037,881

・付記事項

当期純利益金額 50,070 千円

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

主として個別法による原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）……定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	13～50年
車両運搬具	6年
器具備品	3～15年

(2) 無形固定資産……定額法

なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職給付金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準

原則として完成基準を採用しておりますが、工期が3ヶ月を超え、かつ受注金額が100万円超の業務については、工事進行基準を採用しております。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

6. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。